7月健康便り

BSE 全頭検査しています

※　ＢＳＥとは牛海綿状脳症と呼ばれる牛の病気です。

青空のまぶしい季節となりました。

さて、今年の４月に６年ぶりにアメリカで BSE が発生しました。

日本では２００９年度以降、BSE感染牛は確認されていません。

今回は BSE のお話です。

BSE 検査

生体検査

ＢＳＥになった牛は、脳がスポンジ状になり、神経症状などを示し死に至ります。この牛の治療法はありません。

万一、ＢＳＥに感染した牛を食べた場合、日本では確認されていませんが、海外で人への感染が報告されており、牛と同様の症状が人でもみられます。

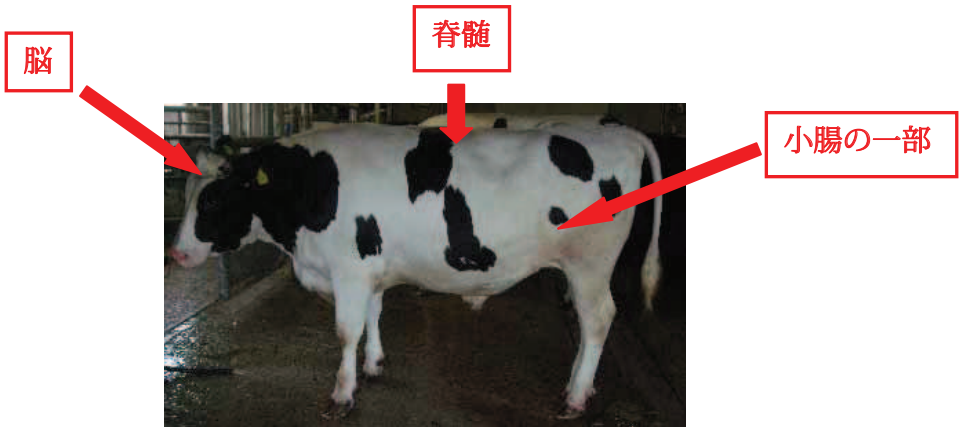
皆さんが安全なお肉を食べることができるように

四日市市食品衛生検査所（新正地区）では牛や豚を検査し、牛については全頭検査によるＢＳＥ対策を行い、特定部位（脳、背髄、小腸の一部など）の確実な処理を指導しています。

BSE の原因

1．たんぱく質が変化した「（異常）プリオン」だと考えられています。

2．プリオンは脳、背髄、小腸の一部などに蓄積します。



全頭検査

1．BSE は、若い牛での発症がみられていないため、国の決まりでは21ヶ月齢以上の牛を検査することになっています。

2．四日市市では、消費者の皆さんにより安心していただくために、21ヶ月齢未満の牛も含め、全頭検査しています。

安心してお肉を食べてくださいね！

【四日市市保健所　食品衛生検査所　TEL ０５９－３５２－０７８５】